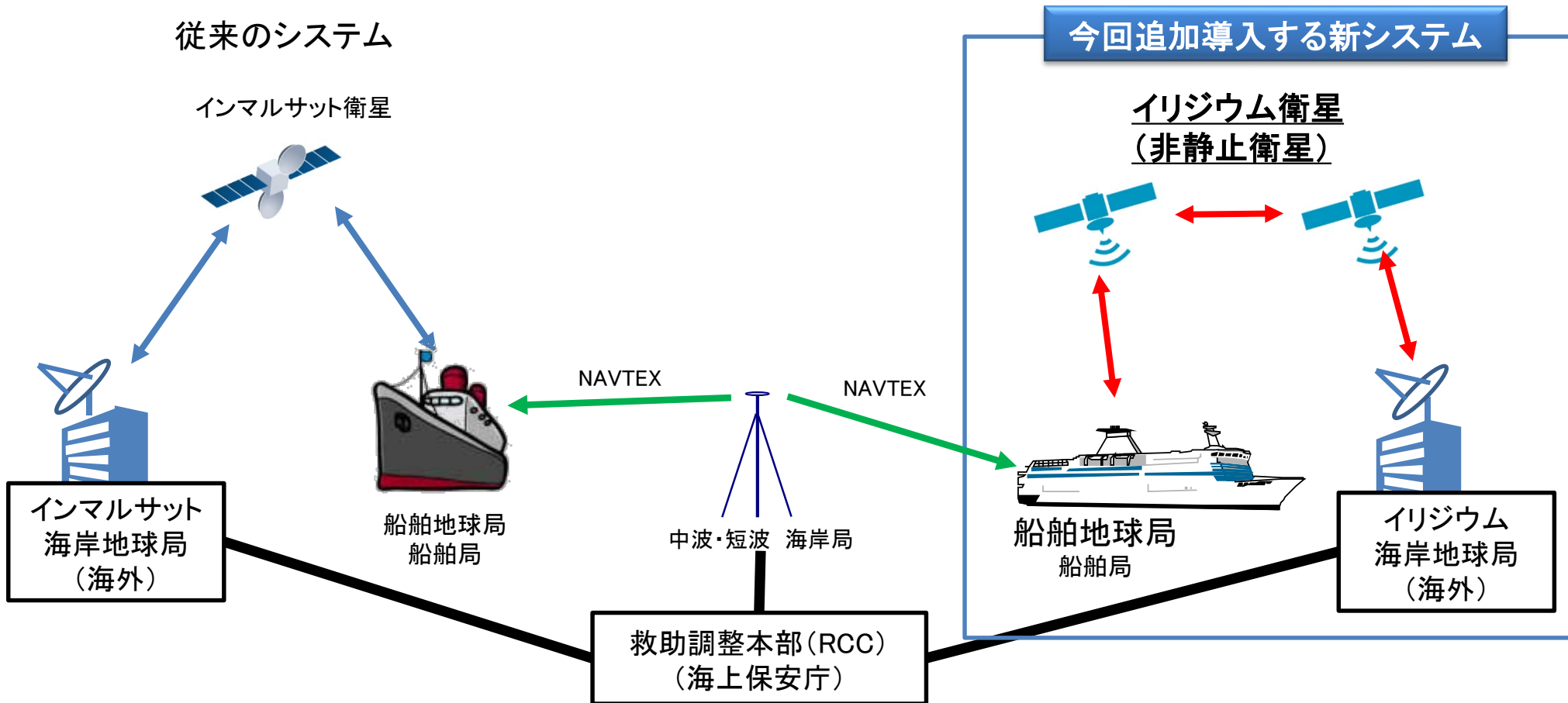


# 船舶の遭難通信等を行う船舶地球局（GMDSS）の概要

- 船舶の遭難通信等を行うGMDSS(Global Maritime Distress and Safety System: 世界海洋遭難安全システム)は、中波・短波通信の他、衛星通信(音声/データ)が活用されており、国内ではこれまで静止衛星であるインマルサットシステムが活用されてきた。
- このたび、非静止衛星を利用する衛星通信システムである「**イリジウムシステム**」が、国際海事機関(IMO)において**GMDSSとして承認**され、2019年世界無線通信会議(WRC-19)において、その周波数が特定されたことから、「イリジウムシステム」についてもインマルサットシステム同様、**船舶の遭難通信等を行う船舶地球局の設備として利用が可能**となるよう、国内制度整備を行う。



\* 1 NAVTEX:NAVigational TELeX  
\* 2 RCC:Rescue Coordination Center

# 航空機の安全運航又は正常運航に関する通信を行う航空機地球局の概要

- ・航空機の洋上管制は、短波通信の他、衛星通信(音声/データ)が活用されており、国内では、静止衛星である国土交通省が運用する運輸多目的衛星(MTSAT)とインマルサットシステムが活用されてきた。
- ・非静止衛星を利用する「イリジウムシステム」についても国際民間航空機関(ICAO)において承認され、海外では既に利用されており、今般国内の航空運送事業者から管制通信利用の要望があったことから、「イリジウムシステム」についても**航空機の安全運航又は正常運航に関する通信を行う航空機地球局の設備として利用が可能**となるよう制度整備を行う。
- ・また、MTSATが令和元年度末にサービスを終了したことから、関連する規定の見直しを行う。

## 従来のシステム

運輸多目的衛星  
(MTSAT)

インマルサット衛星

令和元年度末  
サービス終了

航空機地球局

インマルサット  
航空地球局  
(海外)

## 今回追加導入する新システム

イリジウム衛星  
(非静止衛星)

航空機地球局

イリジウム  
航空地球局  
(海外)

国土交通省  
管制部

国土交通省  
航空衛星センター

管制通信

通信事業者  
(SITA/ARINC)

非管制通信

航空会社等

海外の管制機関

\* 1 SITA: societe internationale de telecommunications aeronautiques

\* 2 ARINC: aeronautical radio incorporation